



学校だより

9月号



浦添市立前田小学校
令和8年8月31日
校長 平良 その子

二学期スタート ～成長の秋、充実の秋～

44日間の長い夏休みを終え、一回り大きくたくましく成長した子供達と再会できたこと、夏休み期間中に大きな怪我や事故等の報告がなく元気で二学期を迎えることができたことをとても嬉しく思います。保護者の皆様、地域の皆様の温かい見守りとご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、いよいよ一年の中で最も長い2学期がスタートしました。今学期は、子どもたちが大きく飛躍する「実りの秋」でもあります。読書月間をはじめ、運動会、6年生の修学旅行、5年生の自然体験学習等、大きな行事が目白押しです。

一つひとつの行事や体験を通して、子どもたちが自ら考え行動し、仲間と協力しながら達成感を味わえるよう支援して参ります。また、学習指導はもちろんのこと、規則正しい生活習慣や、相手を思いやる豊かな人間関係づくりにも継続して取り組み、子供達たち一人ひとりが持つ可能性をさらに伸ばしていける2学期にしていきたいと考えております。

今学期も、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い致します。

二学期校長講話

今朝の校長講話で、子供たちに以下のことについて話をしました。ご家庭でも、お子様と共有していただけたら幸いです。

① 「仲間を大切にする」

これまでのように、お互いに認め合い協力しながら励まし合い、温かい関係を築いていくこと。学校は、一人ではできない経験を仲間と分かち合う場所であり、それが学校に来ることの良さ、意味でもあることを伝えました。

② 「目標に向かって粘り強く最後まで頑張る」

一つのことを最後までやり抜いたときの達成感は、なんとも言えない気持ちを味わえ、「次もがんばろう」というやる気につながる。二学期の大きな行事「運動会」や学習など、「やりきった！」という達成感を味わってほしいということを伝えました。

それに関連し、中学生の頃から毎年、アジアジュニア体操競技選手権大会に出場している沖縄県出身で、現在、三重県暁高等学校2年生 棟田 琳音選手の活躍を紹介しました。

棟田選手は、中学3年生で団体競技「2位」、種目別：跳馬、平行棒「1位」、高校生となった昨年度には、団体「1位」、種目別：跳馬、平行棒「1位」の成績を納め活躍しています。

そのような彼女が、日々辛い練習、過酷な練習を乗り越えることができている秘訣や「結果よりも、目標に向かってまず、行動を起こすこと、チャレンジすることが大切であること」など、実際の棟田選手からのメッセージを子ども達に伝えました。

読書月間



9月1日～30日までの1ヶ月は、読書月間です。学校では、図書の紹介、読書クイズ、読書郵便、職員シャッフル読み聞かせ等、様々な取組を計画しています。

読書には、ご存じの通り様々な効果があり、本でしか得られない知識を得たり、想像力を高めたり、語彙力・会話力・文章力なども身に付いたりします。

この取組を通して、これまで以上に子ども達が読書に親しみ、読書の良さを感じてほしいと思っています。

職員についてのお知らせ

チャレンジ学級3組担任 大嶺 果 教諭が、8月の任期満了をもって退職しました。これまで大変お世話になりました。後任として、宮城 杏子 教諭が担任となりました。

また、7月に退職したチャレンジ11組担任上當 茜寧 教諭の後任は、藤原 千鶴 教諭となりましたのでご報告いたします。どうぞ、よろしくお願いします。